

「山の日」記念行事

豪雪地帯の里山を訪ねる

講演と美人林・清津峡・十日町市博物館を巡る

参加者募集

令和5年11月9日（木）

- 募集人数：40名（定員に達ししだい募集を終了します。）
- 集合：JR越後湯沢駅前 西口ロータリー 午前9時20分
- 散策：美人林（樹齢100年のブナ的美林）
- 見学：清津峡（日本三大峡谷のひとつ）
十日町市博物館（火焰型土器（国宝）等）
- 講演：「豪雪地帯の里山のブナ林が育む生物多様性のめぐみ」
小林 誠 氏
（十日町市立里山科学館越後松之山「森の学校」キョロロ）
- 解散：JR越後湯沢駅前 午後5時頃
- 参加費：3,500円（昼食代・入坑料・入館料・保険料）
- 応募方法：裏面に記載
- 持ち物・服装：滑り難い靴、飲み物、帽子、防寒着、雨具

○体調等を勘案して十分ご検討の上、自己責任でのご参加をお願いします。

○当日、発熱(37.5℃以上)などの症状のある方、風邪の症状のある方等は参加をご遠慮いただきます。

○手指の消毒などの感染症防止対策をお願いいたします。マスクの着用については、個人の判断にお任せします。

主催 「山の日」記念行事実行委員会

実行委員会の構成団体

一般財団法人 日本森林林業振興会

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会

一般社団法人 日本森林インストラクター協会

「山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する」という「山の日」の趣旨にもある「山の恩恵」とは「森林の恵み」そのものです。

里山は、木材の供給、良好な景観形成、水源かん養や国土保全、自然とのふれあいの場、さまざまな動植物の生息・生育場所としての生物多様性などの観点から重要な役割を果たしています。これらがもたらすさまざまな恵みは、国民共有の財産です。

今回、豪雪地帯に残されたブナの里山「美人林」を訪ねて、秋の森林を散策するとともに、講演によって「森林の恵み」に感謝する一日をお楽しみください。

併せて、日本三大峡谷のひとつ清津峡と火焰型土器で有名な十日町市博物館にも立ち寄ります。

当日のコース

越後湯沢駅→清津峡→美人林→里山科学館越後松之山「森の学校」キョロロ（施設見学・昼食・講演）→十日町市博物館→越後湯沢駅

- 移動は、貸切バスで行います。
- 昼食は、主催者が準備します。

参加申込方法

○参加ご希望の方は、メール又は申込フォームでお申し込みください。

◇メールでお申し込みの方

参加希望者全員の①氏名、②年齢、③性別、③連絡先住所、④電話番号、⑤メールアドレスを記入のうえ、申込先に記載のメールアドレスまでお申し込みください。

○下記の申込みフォームからも申し込みできます。

○お申し込みを受け付けましたら、メール等で連絡先にご連絡いたします。

○先着順ですので募集定員に達しだい募集を締め切ります。

申込フォームはこちらから：<https://forms.gle/ahndWAI7uKSyn6mF7>



申込先

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル
一般社団法人 全国森林レクリエーション協会

TEL:03-5840-7471(9時～17時) FAX:03-5840-7472

E-mail: info@shinrinreku.jp